

Helicopters

H135

操縦士 整備士

トレーニング カタログ

Pilot & Technician Training Catalog



AIRBUS

トレーニングセンター

H135 フル・フライト・シミュレーター (神戸)



2014年に神戸空港事業所内 トレーニングセンターに導入された H135 P2+のフル・フライト・シミュレーターはエアバス・ヘリコプターズグループ内 EC135 シミュレーターで最高レベルの Level C の仕様です。シミュレーターの活用により、実機では実施することが難しい多様な系統の非常操作や悪気象条件下の運航、整備士の試運転その他様々なミッションを想定した効率的で低コストの訓練を提供することが可能になりました。

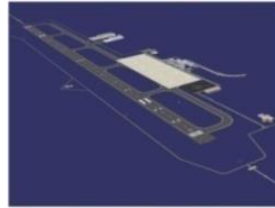
184種類の故障模擬又は非常操作訓練(同時に複数設定可能)が可能で、操縦士・整備士ともに実機ではリスクの高い、又は実施不可能な訓練を安全に実施することができます。さらに多発タービン機・グラスコックピットへの初期移行訓練やオートパイロット慣熟、他機種の操縦士の計器飛行や技量維持訓練にも応用可能です。

主な仕様

- ・LED プロジェクターによる高精細ビジュアルシステム 視界=水平 240°×垂直 80°(+30/-50°)
- ・振動 (3 軸) 及びサウンド音響装置
- ・6 軸フルモーションシステム

ビジュアルデータベース

- ・3D の地表および高解像度 3D 環境
- ・神戸空港、関西空港、八尾空港、但馬空港、鳥取空港及び東京ヘリポートをデータ化
- ・オイルリグ及び探査船「ちきゅう」のヘリパッド
- ・地表付近の雪や砂塵の巻き上げを模擬



高度なデブリーフィング機能

- ・飛行全体をレビュー可能
- ・コックピット内の映像
- ・機内外会話の再生
- ・計器盤の表示

実機のミッション使用を妨げずに訓練が可能

実機では危険を伴う訓練をリスクなしに実施が可能

多様な気象環境と機体条件の組合せで効果的な訓練が可能

様々なシナリオで意思決定の訓練が可能

整備士の訓練及び実地試験の受験が可能

フル・フライト・シミュレーターによる操縦士訓練

- ・等級限定変更 (陸上多発タービン機)
- ・計器飛行最近の飛行経験の充足
- ・非常操作
- ・その他の訓練例
 - 夜間運航
 - 悪天候運航
- タービン多発機への初期移行訓練 (タービン機、多発機の基本運航、グラスコックピット、オートパイロット・SAS、GPS ナビゲーション等)

フル・フライト・シミュレーターによる整備士訓練

- ・地上試運転・機能チェック*
 - ・地上試運転非常操作
 - ・FCDS (Flight Control Display System) 機能チェック
- *ホットスタート、マニュアルエンジンコントロール、フライトアクチュエーター暴走、エンジン火災、ハングスタート、フライトコントロール操作によるマストモーメントチェック等

H135Helionix・トレーナー (HATS) による訓練

- ・Helionix・システムの理解を深めるための教材
 - ・学科訓練で学んだ知識・操作手順の定着を図るのに効果的
 - ・タッチパネルによるアビオニクスの操作
 - ・AFCS (APCP) 慣熟訓練
- <HATS を用いた訓練事例>
- ・操縦士：通常操作、AFCS 慣熟、非常操作、アビオニクス訓練等
 - ・整備士：アビオニクス、AFCS、試運転訓練等



H135 アビオニクス・トレーナー (AVT) による訓練

- ・システムの理解を深めるための教材
 - ・学科訓練で学んだ知識・操作手順の定着を図るのに効果的
 - ・空力、エンジンモデルは実機を模擬
 - ・GNS430 (実物) 又は CMA3000/9000 (タッチパネル操作)
 - ・リアルなコックピット (実機サイクリックとコレクティブを使用) タッチパネルによるアビオニクスの操作
- <アビオニクス・トレーナーを用いた訓練事例>
- フル・フライト・シミュレーター訓練の前に各種操作手順に慣熟
- ・操縦士：通常操作、非常操作、計器飛行、アビオニクス訓練等
 - ・整備士：アビオニクス、オートパイロット、GPS、試運転訓練等



操縦士訓練一覧

訓練名	学科訓練	シミュレーター訓練	実機訓練	実地試験	掲載ページ
H135 等級限定変更 (実地試験訓練)	P4 参照	P4 参照	P4 実地試験訓練 参照	2 時間 (1 日)	4 - 5
H135 OEM	P5 OEM 訓練 参照	P5 OEM 訓練参照	P5 OEM 訓練参照	なし	5
H135 ガイドライン	45 時間 (7 日)	10 時間 (1 週) EC135 FFS	なし	なし	6
H135 ガイドライン (P3H / T3H)	56 時間 (8 日)	なし	10 時間 (5 - 7 日)	なし	6
計器飛行証明 40 時間 / 60 時間 *学科試験合格者対象	70 時間 (10 日)	40 時間 (5 週) 基本計器飛行技能あり (FFS + AVT + 実機)		3 時間 (1 日)	7
		60 時間 (7 週) 基本計器飛行から訓練 (EC135 FFS + AVT + 実機)			
型式内移行 ①②③	4 - 31 時間 (1 - 5 日)	なし	1 - 4.5 時間 (1 - 3 日)	なし	8
非常操作	7 時間 (1 日)	4 時間 (2 日) H135 FFS	なし	なし	9
TEM (Threat and Error Management)	2 時間 (0.5 日)	2 時間 (0.5 日) H135 FFS	なし	なし	10
計器飛行技量維持	3 時間 (0.5 日)	3 時間 (1 日) AVT + H135 FFS	なし	なし	11
特定操縦技能審査	口述審査・実技審査・判定				11
H135 FFS IOS	2 時間 (1 日)	2 時間 (1 日) H135 FFS	なし	なし	12

H135 FFS = 神戸 H135 フル・フライト・シミュレーター AVT = H135 Avionics Trainer (アビオニクス・トレーナー)

CAT-A 運航に関する訓練をご希望の場合は別途お問い合わせください。

整備士訓練の概要一覧

訓練名	学科訓練	実技訓練	地上試運転訓練	実地試験	掲載ページ
二等航空整備士 (新規) ①②	84 時間 (12 日)	56 時間 (8 日)	5 日 ①お客様実機 ②EC135 FFS	1 - 2 日	13 - 14
二等航空整備士 (新規) (Helionix)	84 時間 (12 日)	56 時間 (8 日)	5 日	1 - 2 日	
H135 OEM	55 時間 (8 日)	30 時間 (5 日)	なし	なし	14
H135 (Helionix) OEM	55 時間 (8 日)	49 時間 (7 日)	なし	なし	15
ガイドライン	55 時間 (8 日)	30 時間 (5 日)	12 時間 (2 日)	なし	
ガイドライン (Helionix)	55 時間 (8 日)	49 時間 (7 日)	12 時間 (2 日) お客様実機	なし	
型式内移行 ①②③	4 - 35 時間 (1 - 5 日)	なし	なし	なし	16
オートパイロット (T3/P3 まで)	21 時間 (3 日)	1 時間 神戸 H135 FFS *学科に含む	なし	なし	17
HELIONIX 慣熟	なし	14 時間 (2 日)	なし	なし	17
整備実技	なし	21 時間 (3 日)	なし	なし	18
試運転及び非常操作	なし	1 時間 神戸 EC135 FFS	2 時間 (学科・AVT)	なし	19

■ 二等整備士訓練及びガイドライン訓練は OEM 訓練内容を含んでいます。

■ OEM 訓練は、エアバス・ヘリコプターズ社で定める実施科目を網羅した標準訓練の時間数となります。

操縦士訓練

H135 等級限定変更

・等級限定変更（陸上多発タービン機）のための訓練を実施します。操縦士実地試験実施細則に準じた項目、エアバス・ヘリコプターズのシラバスによる通常及び非常操作を含みます。

受講要件：有効な技能証明書と航空身体検査証明書

使用教材：トレーニングマニュアル、飛行規程、AVT、神戸 H135 FFS / お客様実機

訓練場所：[学科訓練、FFS 訓練] 神戸 [実技訓練] お客様基地

訓練期間

機種名	コース	学科訓練時間	メーカー標準訓練		実地試験 対応訓練	合計	実地試験
			FFS	基本 実機訓練			
H135 シリーズ (P2, P2+, P3) (T2, T2+, T3)	ITR ①	45 時間 (AFCS、FCDS) (学科試験 2 時間を含む)	6 時間	5 時間	14 時間	25 時間	2 時間
H135 (Helionix 機)	ITR ②	56 時間 (学科試験 3 時間を含む)	なし	10 時間	15 時間	25 時間	2 時間

H135 学科訓練

学科訓練シラバス例 (45 時間 / 7 日)	
1 日目	オリエンテーション、機体概要、機体構造、リフティングシステム
2 日目	テールユニット、フライトコントロール、降着装置、パワープラント
3 日目	パワープラント、AVIO、電気系統
4 日目	電気系統、標準装備品、航法装置 (FMS / NAV)、FCDS
5 日目	FCDS、AFCS
6 日目	飛行規程 (運用限界・非常操作・通常操作)
7 日目	飛行規程 (性能・重量重心)、理解テスト・解説

H135 (Helionix 機) 学科訓練

学科訓練シラバス例 (56 時間 / 8 日)	
1 日目	オリエンテーション、機体概要、降着装置、機体構造、リフティングシステム、テールユニット
2 日目	フライトコントロール、油圧系統、燃料系統、パワープラント
3 日目	電気系統
4 日目	Helionix
5 日目	Helionix、AFCS
6 日目	灯火系統、航法装置 (FMS / NMS)、飛行規程 (運用限界)
7 日目	飛行規程 (通常操作、非常操作)
8 日目	飛行規程 (性能、重量重心)、理解テスト・解説

実技訓練 (OEM 訓練)

実技訓練シラバス例 (10 時間：シミュレーター 6 時間 + 実機 4 時間)		
	訓練内容	使用機材
1 回目	H135 通常手順、VFR 科目操作慣熟	神戸 H135 FFS / お客様実機
2 回目	基本計器飛行、各種離着陸	
3 回目	各種離着陸、計器故障、エンジン故障、火災	
4 回目	各種離着陸、エンジン故障、動力伝達系統故障、	
5 回目	各種離着陸、エンジン故障、電気系統故障、フライトコントロール故障	

H135 等級限定変更 * 続き

実地試験訓練（実技訓練）

実技訓練シラバス例（15 時間：実機 15 時間）		
	訓練内容	使用機材
1 回目	実機慣熟、基本計器飛行、各種離着陸	お客様実機
2 回目	基本計器飛行、各種離着陸、エンジン故障、火災	
3 回目	各種離着陸、エンジン故障、動力伝達系統故障、	
4 回目	各種離着陸、エンジン故障、電気系統故障、燃料系統故障	
5 回目	各種離着陸、エンジン故障、オートローテーション	
6 回目	各種離着陸、エンジン故障、フライトコントロール故障	
7 回目	各種離着陸、各種緊急操作	
8 回目	模擬実地試験	
9 回目	模擬実地試験	
10 回目	模擬実地試験（実地試験移行の審査）	

- 19 ページの注意事項 A、B、C、D、E、F をご参照ください。
- 等級限定変更実地試験のご支援まで必要な場合は、OEM 訓練と実地試験訓練を受講してください。
- ITR（Initial Type Rating）等級限定資格（多発タービン機）を保有していない操縦士向け訓練
- ATR（Additional Type Rating）等級限定資格（多発タービン機）を保有している操縦士向け訓練
- 実地試験対応訓練の設定は、事業用単発タービン保有、機長時間 500 時間以上以上の技能保有した操縦士を想定したものです。（訓練時間及び内容等については応相談、アナログ計器の機体で訓練をご希望の場合は別途ご相談ください。）
- JCAB 実地試験は、特定操縦技能審査の代替となります。
- 神戸トレーニングセンター以外での訓練については、教官の国内旅費・宿泊費が別途かかります。

メーカー標準訓練（OEM 訓練）

エアバス・ヘリコプターズ社では全世界の訓練センターにおいて、どの訓練センターでも同じシラバス・同じタスクの訓練をご提供できる訓練プログラムです。なお、実地試験受験までサポートをご希望の場合は、等級限定変更訓練の受講をお願いいたします。

受講要件：有効な技能証明書と航空身体検査証明書

使用教材：トレーニングマニュアル、飛行規程、AVT、神戸 H135 FFS / お客様実機

訓練場所：[学科訓練] 神戸 [実技訓練] 神戸/お客様基地

訓練期間

機種名	学科訓練時間	コース	FFS（FTD）	実機訓練	実技審査	実技訓練合計
H135 シリーズ (P2, P2+, P3) (T2, T2+, T3)	45 時間 (AFCS、FCDS) (学科試験 2 時間を含む)	ITR ①	6 時間	4 時間	1 時間	11 時間
		ITR ②	なし	8 時間	1 時間	9 時間
		ATR	5 時間	3 時間	1 時間	9 時間
		ATR	なし	8 時間	1 時間	9 時間
H135 (Helionix 機)	56 時間 (学科試験 3 時間を含む)	ITR ③	7 時間	4 時間	1 時間	12 時間
		ATR	4 時間	4 時間	1 時間	9 時間

H135 型式内移行訓練（学科訓練、実技訓練）

訓練内容		T → P P → T	P1, P2 (T1, T2) → P3 (T3)	P2+ (T2+) → P3 (T3)	P1, 2 (T1, 2) → P3H (T3H)	P2+ (T2+) → P3H (T3H)
学科訓練		3 時間	3 時間	3 時間	12 時間	12 時間
追加	FCDS / Helionix	5 時間	5 時間	1 時間	12 時間	12 時間
	AFCS	5 時間	5 時間	1 時間	5 時間	3 時間
	FMS / NAV	5 時間	5 時間	1 時間	2 時間	2 時間
学科試験		なし	なし	なし	なし	なし
合計		3 時間 + 追加	18 時間	6 時間	31 時間	29 時間
実機訓練（FFS・実機）		1 時間	1.5 時間	1 時間	4.5 時間	4 時間

操縦士訓練

H135 ガイドライン

同一等級内未経験型式への移行訓練を航空局通達ガイドラインを満足する内容で、お客様のご要望に応じて実施します。

受講要件：有効な技能証明書と航空身体検査証明書及び「陸上多発タービン機」の等級限定

使用教材：トレーニングマニュアル、飛行規程、AVT、神戸 H135 FFS / お客様実機

訓練場所：[学科訓練] 神戸 [実技訓練] 神戸 / お客様基地

訓練期間

訓練名	学科訓練	FFS 訓練	お客様実機訓練	実地試験	期間
H135 ガイドライン 学科 + H135 FFS	45 時間 (7 日)	10 時間 (5 日)	なし	なし	約 3 週
H135(Helionix 機)ガイドライン 学科 + お客様実機	56 時間 (8 日)	なし	10 時間 (5 - 7 日)		

訓練内容

H135 学科訓練シラバス例 (45 時間 / 7 日)	
1 日目	オリエンテーション、機体概要、機体構造、リフティングシステム
2 日目	テールユニット、フライトコントロール、降着装置、パワープラント
3 日目	パワープラント、アピオニクス、電気系統
4 日目	電気系統、標準装備品、航法装置 (FMS / NAV)、FCDS
5 日目	FCDS、AFCS
6 日目	飛行規程 (運用限界・非常操作・通常操作)
7 日目	飛行規程 (性能、重量重心)、理解テスト・解説

H135 Helionix 機 学科訓練シラバス例 (56 時間 / 8 日)	
1 日目	オリエンテーション、機体概要、降着装置、機体構造、テールユニット
2 日目	フライトコントロール、油圧系統、燃料系統、パワープラント
3 日目	電気系統
4 日目	Helionix
5 日目	Helionix、AFCS
6 日目	灯火系統、航法装置 (FNS)、飛行規程 (運用限界)
7 日目	飛行規程 (運用限界・非常操作・通常操作)
8 日目	飛行規程 (性能、重量重心)、理解テスト・解説

H135・H135 Helionix 機 共通実技訓練シラバス例 (10 時間 / 1 - 2 週)		
	訓練内容	使用機材
1 回目	H135 通常手順、VFR 科目操作慣熟	神戸 H135 FFS 又はお客様実機
2 回目	基本計器飛行、各種離着陸、計器故障、エンジン故障、火災	
3 回目	各種離着陸、GPS / AFCS、エンジン故障、動力伝達系統故障、電気系統	
4 回目	各種離着陸、GPS / AFCS、エンジン故障、フライトコントロール故障、	
5 回目	各種離着陸、GPS / AFCS、エンジン故障、火災	

航空局通達操縦士ガイドライン訓練必須項目	
■学科訓練 (20 時間)	■実技訓練 (10 時間)
<ul style="list-style-type: none"> 機体概要及び構造 諸系統及び取扱い 飛行規程及び性能 	<ul style="list-style-type: none"> 各種離着陸 (飛行前点検、地上試運転を含む) 地表付近における操作 緊急操作 (オートローテーション、多発機の場合は片発動機故障を含む) 技量査定

■19 ページの注意事項 A、C、E、F をご参照ください。

操縦士訓練

H135 計器飛行証明

計器飛行証明取得のための操縦士実地試験実施細則に準じた訓練を実施します。

受講要件：有効な技能証明書と航空身体検査証明書。学科試験に合格し、有効期限内であること。

：50時間以上の機長としての野外飛行

使用教材：トレーニングマニュアル、AVT、神戸 H135 FFS / お客様実機

訓練場所：[学科訓練] 神戸 [実技訓練] 神戸 / お客様基地

受験に必要な経歴

- ・回転翼航空機による 10 時間以上の飛行を含む 50 時間以上の機長としての野外飛行時間
- ・40 時間以上の計器飛行等の練習（模擬飛行時間は 30 時間を限度とする）

訓練期間

訓練名	学科訓練	AVT 訓練	FFS 訓練	お客様実機訓練	実地試験
H135 計器飛行証明 40 時間 基本計器飛行技能あり	70 時間 (10 日)	10 時間	10 時間	20 時間	3 時間 (1 日)
		(2 週)		(3 週)	
		合計 40 時間 (5 週)			
H135 計器飛行証明 60 時間 基本計器飛行から訓練	70 時間 (10 日)	14 時間	16 時間	30 時間	3 時間 (1 日)
		(3 週)		(4 週)	
		合計 60 時間 (7 週)			

■受験には 40 時間以上の計器飛行等の練習時間が必要です。40 時間訓練の場合、10 時間の計器飛行等の練習時間（事業用技能証明取得時の飛行経歴等）を保持していることが条件となります。60 時間訓練の場合は、本訓練のみで充足可能です。

■シミュレーター及び実機訓練の時間は標準を示し、合計時間が下回らなければ標準時間の割合の変更も可能です。

■実機訓練はお客様実機を使用することを標準としています。お客様実機が使用できない場合は調整が必要になりますので、期間及び時間が変更になる場合があります。

訓練内容

学科訓練シラバス例 (70 時間 / 10 日)	
1 日目	オリエンテーション、IFR 手順（出発前・基礎）
2 日目	IFR 手順（ナビゲーション・アプローチ）
3 日目	IFR 手順（アプローチ・非常時）
4 日目	IFR 手順（クルーコンディション / コールアウト・科目実施要領）
5 日目	管制交話法
6 日目	飛行計画・実習
7 日目	IFR 実習（地上点検 - 離陸・上昇 - エンルート/待機）
8 日目	IFR 実習（非精密進入・精密進入）
9 日目	総合実習（準備）、総合実習 1（AVT を使用）
10 日目	総合実習 2（AVT を使用）、口述試験準備

実技訓練シラバス例 (40 時間：AVT10 時間 + FFS10 時間 + 実機 20 時間)		
	訓練内容	使用機材
AVT 1 - 2 回目	基本計器飛行	AVT
AVT 3 - 4 回目	SID / STAR、Holding、VOR	
AVT 5 - 6 回目	SID、Holding、ILS	
AVT 7 回目	IFR ナビゲーション	
FFS 1 - 2 回目	SID / STAR、Holding、VOR	神戸 H135 FFS
FFS 3 - 4 回目	SID、Holding、ILS	
FFS 5 - 6 回目	IFR ナビゲーション	
実機 1 回目	基本計器飛行	お客様実機
実機 2 - 3 回目	SID、Holding、VOR	
実機 4 - 5 回目	SID、Holding、ILS	
実機 6 - 7 回目	IFR ナビゲーション	
実機 8 回目	模擬試験 1	
実機 9 回目	模擬試験 2	

■19 ページの注意事項 A、B、C、D、E、F をご参照ください。

操縦士訓練

H135 型式内移行

H135 同一型式内の別モデルへの移行訓練をお客様のご要望に応じて実施します。

(例) EC135T から EC135P への移行、Helionix 機への移行等

受講要件 : 有効な技能証明書と航空身体検査証明書

使用教材 : トレーニングマニュアル、飛行規程、お客様実機

訓練場所 : [学科訓練] 神戸 [実技訓練] お客様基地

訓練期間

訓練名	移行内容	学科訓練	お客様実機訓練	期間
H135 型式内移行 ①	異なるメーカーのエンジンへの移行 (P⇄T)	4 時間 (1 日)	1 時間 (1 日)	2 日
H135 型式内移行 ②	他モデルから P3 / T3 への移行	6 時間 (1 日)	1 時間 (1 日)	2 日
H135 型式内移行 ③	他モデルから Helionix 機への移行	31 時間 (5 日)	4.5 時間 (3 日)	8 日

■移行内容が複数重複する場合は、学科訓練時間は各々の合計となります。詳細はお問い合わせください。

■訓練期間は、選択した訓練と訓練員の人数により調整させていただきます。

■アナログ機 (T1/P1) からの型式内移行訓練をご希望の場合は別途お問い合わせください。

訓練内容

① 異なるメーカーのエンジンへの移行 (P⇄T) 学科訓練シラバス例 (4 時間 / 1 日)	
1 日目	相違内容 (エンジン・制限事項・性能通常操作・非常操作)
② 他モデル → P3 / T3 学科訓練シラバス例 (7 時間 / 1 日)	
1 日目	相違内容 (ローター・機体概要・飛行計器等)、FMS / GPS、飛行規程 (通常操作・非常操作・性能)
③ 他モデル → Helionix 機 学科訓練シラバス例 (31 時間 / 5 日)	
1 日目	相違内容 (ローター、機体概要、飛行計器等)
2 日目	Helionix
3 日目	Helionix
4 日目	AFCS、FMS / NAV、飛行規程 (通常操作、非常操作、性能)
5 日目	飛行規程 (通常操作、非常操作、性能)

■19 ページの注意事項 A、C、E をご参照ください。

操縦士訓練

H135 非常操作

H135 フル・フライト・シミュレーター（FFS）を活用して実機では訓練が困難な危険な状況、及び様々な状況での非常操作の対応手順を反復練習することによって、機器の故障等の緊急事態に安全に対応できる能力を養う訓練を実施します。緊急時の対応能力を継続的に維持できるように定期的に非常操作の訓練を行うことを推奨します。訓練は機体各系統及び非常操作のレビューを実施したのち、FFS で実技訓練を実施します。訓練内容及び想定するミッションや環境設定については、お客様のご要望に応じます。

受講要件：有効な技能証明書と航空身体検査証明書

使用教材：訓練資料、飛行規程、神戸 H135 FFS（オートパイロット装備有）

訓練場所：[学科訓練] 神戸 [実技訓練] 神戸

訓練期間

訓練名	学科訓練	FFS 訓練	期間
H135 非常操作 オートパイロット有	7 時間（1 日）	4 時間（2 日）	3 日

■ オートパイロット非装備機の訓練を実施する場合の学科訓練は 6 時間（1 日）となります。

訓練内容

学科訓練シラバス例（7 時間 / 1 日）	
1 日目	オリエンテーション、電気系統、操縦系統、エンジン、燃料系統、消火系統、トランスミッション、CPDS AFCS・FCDS

実技訓練シラバス例（4 時間 / 2 日）		
	訓練内容	使用機材
1 回目	エンジン故障、火災、FADEC 故障、ガバナー故障、テールローター故障	神戸 H135 FFS
2 回目	離陸・進入・ホバリング中の OEI、電気系統故障、シナリオ訓練	神戸 H135 FFS

神戸 H135 FFS で可能な非常操作

故障の種類	故障例
エンジン系統	FADEC 故障、エンジン故障、ホットスタート、ガバナー故障、エンジンチップ
ギアボックス	トランスミッション / テールローターギアボックス・チップ、トランスミッション油圧、フリーホイール故障
火災	エンジン火災、火災警報装置故障、消火器故障
燃料系統	燃料フィルター閉塞、燃料ポンプ故障、燃料油量計故障
電気系統	バッテリー温度、バスタイ故障、ジェネレーターオーバーヒート、インバーター故障
油圧系統	油圧低下
操縦系統	トリムモーター故障、SEMA 故障、LVD 故障、EHA 故障、FTR ボタン故障
オートパイロット	APM 故障、P / R SAS、APMS 故障
センサー・計器	FOG 故障、AHRS 故障、ピトー・ヒーター故障、ADC 故障、ICP 故障
FCDS / AFCS	FCDM 故障、SMD 故障、CROSSTALK 故障、VEMD LANE 故障
ナビゲーション	GPS 故障、ILS 故障、VOR 故障、DME 故障、LOC 故障、GS 故障
ローター	ローターブレーキ故障、テールロータードライブ故障、テールローターコントロール故障
オートローテーション	両エンジン故障
その他の不具合	CPDS 過熱、VEMD ファン故障、FCDS ファン故障、EPU ドア
悪天候時の対応	低視程下での運航
応用訓練	CAT-A 運航（離着陸中のエンジン故障）

■ 19 ページの注意事項 A、F、M をご参照ください。

■ 184 種類の故障を模擬することができます。お客様のご要望により、選択することが可能です（同時に複数設定も可能）。

操縦士訓練

TEM (Threat and Error Management)

操縦士を対象にした、各種飛行状態において意思決定に必要な経験を積む訓練を EC135 フル・フライト・シミュレーター (FFS) で実施する訓練です。厳重な TEM が要求される様々な状況下の意思決定と飛行要領を経験し、操縦士の総合能力を効率的に向上させる訓練を実施します。

受講要件 : 多発タービン回転翼航空機の操縦技能証明

使用教材 : 神戸 H135 FFS

訓練場所 : 神戸

訓練期間

訓練名	学科訓練	FFS 訓練	期間
H135 FFS TEM 学科 + H135 FFS	2 時間	2 時間	1 日

訓練内容

学科訓練シラバス例		
2 時間	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション、安全ブリーフィング、H135 コックピット慣熟 ・訓練項目に係る基礎知識 (危険性、考慮事項、対処要領等) 	

実技訓練シラバス例		
	訓練内容	使用機材
1 回目	・次に示す訓練項目ごとに危険状態等の体験、回避操作又は適切な手順・操作の訓練	神戸 H135 FFS

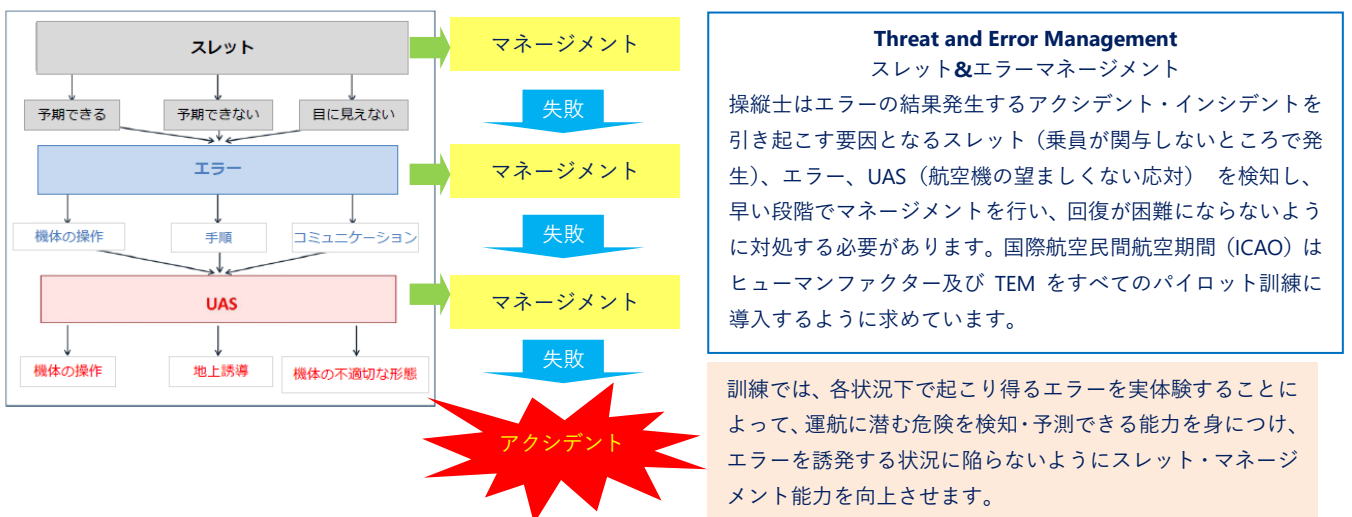
訓練項目

内容	訓練概要
① 予期せぬフラットライト*状態	飛行中のフラットライト状態において、姿勢・高度の保持が困難である危険状態を確認、その後対処方法を訓練
② 予期せぬ IMC	急激な天候悪化による IMC (雲中飛行を含む) を体験後、予期せぬ IMC 遭遇時の手順を訓練 (手順は、計器飛行証明の有無により区別して訓練)
③ 適切な降下レートの進入着陸 適切な離着陸経路の設定と運航	高降下レートの進入着陸を体験してその危険性を確認、その後、適切な降下計画 (適切な進入角度/速度と降下レートの関係) による進入着陸を訓練
④ ダウンウォッシュの危険性	ホバリング不能なブラウンアウト、ホワイトアウトを体験後、その可能性のある着陸場への進入要領、進入復行要領を訓練

*フラットライト: 明暗 (コントラスト) の極めて少ない飛行環境において水平線の視認が困難となり、機外の物標を目視して得られる高度及び姿勢に関する視覚情報が少なくなり、計器に頼らなければ安定した飛行を保てなくなる状況。曇天時の積雪地、海上又は湖面の低視程時等。

■ 19 ページの注意事項 A、F、M をご参照ください。

■ 訓練受講者は、同時に特定操縦技能審査を受審することができます (料金別途)。



操縦士訓練

H135 計器飛行技量維持

計器飛行方式で飛行を実施するための技量維持訓練を H135 フル・フライト・シミュレーター（FFS）及び H135 アビオニクス・トレーナー（AVT）を用いて実施します。実際に陥る可能性がある悪天候の状況をリアルに模擬し、状況判断力やストレスがかかった状態での適切な対処能力を養います。

受講要件：有効な技能証明書と航空身体検査証明書及び計器飛行証明

使用教材：訓練資料、AVT、神戸 H135 FFS

訓練場所：[学科訓練] 神戸 [実技訓練] 神戸

訓練期間

訓練名	学科訓練	AVT 訓練	FFS 訓練	期間
H135 計器飛行技量維持 学科 + AVT + H135 FFS	3 時間	1 時間	2 時間	2 日

■ H135 FFS で計器飛行訓練を実施した場合、模擬飛行装置の時間として計器飛行時間を記入することができます。

訓練内容

訓練シラバス例 (2 日)		
1 日目	学科 (3 時間)	飛行経路のレビュー、最近の関係規則改正点
	AVT (1 時間)	グラスコックピット及びオートパイロットの慣熟、基本計器飛行、計器進入
2 日目	H135 FFS (2 時間)	IFR 飛行中の系統又は装備品の故障への対処、予期しない計器飛行状態への対処法 (VFR から計器飛行への切り替え)、オートパイロット・グラスコックピット・GPS を活用した飛行

特定操縦技能審査

特定操縦技能審査を神戸 EC135 フル・フライト・シミュレーター（FFS）又はお客様実機で実施します。

H135 FFS は多発タービン機等級限定を有する操縦士が対象となります。

審査要件：技能証明書（使用航空機の操縦に有効なもの） / 規則第 20 号様式 12.技能証明書 - 特定操縦技能審査 / 確認、航空身体検査証明書（条件指定がある場合は常用眼鏡・予備眼鏡等を持参、シミュレーターの場合は不要）、乗務員飛行日誌、航空安全講習会受講証明書（2 年以内の受講により口述審査の一部免除可）

使用機材：神戸 H135 FFS

訓練場所：神戸

審査概要

審査名	使用機材	審査内容	期間
特定操縦技能審査 H135 FFS	神戸 H135 FFS	口述審査・実技審査・講評	0.5 日

■ お客様基地でお客様の機体を使用して審査を実施する事も可能です。別途お問い合わせをお願いいたします。

審査要領

特定操縦技能審査の流れ	
1	審査員が被審査者に「操縦技能審査員の証」及び「技能証明書」を提示
2	審査の方法の提示（全体の流れ、注意事項の伝達）
3	書類の確認（技能証明書、航空身体検査証明書、無線従事者免許証）
4	口述審査（約 30 分）
5	機体プリフライトチェック
6	実技審査（約 30 分）
7	機体ポストフライトチェック
8	審査終了後のブリーフィング
9	講評（約 30 分）ならびに講評後の手続き（審査を受けた者の技能証明書に定められた事項を記載）
10	審査終了後の事務処理（上記技能証明書の写しを国土交通大臣に提出）

■ 口述審査は、航空局が発行する特定操縦技能審査実施細則に定めるとおり、「特定操縦技能審査口述ガイダンス」に従って質問します。

■ 審査内容・手続き詳細については、事前に国土交通省ホームページでご確認ください。 http://www.mlit.go.jp/koku/15_bf_000744.html

■ 審査不合格の場合は、訓練計画と再審査の予定について、ご相談に応じます。

■ 他の訓練と同時に審査をご希望の場合は、お問い合わせください。

操縦士訓練

H135 FFS IOS

H135 フル・フライト・シミュレーター（FFS）を自社訓練又は定期運航審査等、自社の教官や審査官にて運用を希望する場合、当該教官や審査官が事前に FFS の IOS（Instructor Operation Station=教官操作卓）訓練を修了していただけたら、ドライリース（FFS のみのレンタル）が可能です。

受講要件：有効な技能証明書及び航空身体検査証明書

使用教材：訓練資料、飛行規程、神戸 EC135 FFS

訓練場所：[学科訓練] 神戸 [実技訓練] 神戸

訓練期間

訓練名	学科訓練	シミュレーター訓練	お客様実機訓練	期間
H135 FFS IOS 学科 + H135 FFS	2 時間（1 日）	2 時間（1 日）	なし	1 日

訓練内容

学科訓練シラバス例（2 時間）	
1 日目	シミュレーター概要、シミュレーター運用方法、シミュレーター緊急時の対応 IOS プログラム、リモート IOS 及びデブリーフィングステーションの運用、性能限界、応用操作、理解テスト

実技訓練シラバス例（2 時間）		
	訓練内容	使用機材
1 回目	IOS メニュー、サブメニュー、リモート IOS、デブリーフィングステーション運用	神戸 H135 FFS

- 19 ページの注意事項 A をご参照ください。
- ドライリース運用を実施する運航者が対象になります。
- 原則として、土日祝日のドライリースはありません。

整備士訓練

H135 二等航空整備士（新規）

二等航空整備士の新規資格取得に必要な JCAB 実施試験細則、メーカー標準訓練（OEM 訓練）の内容を網羅する訓練を実施します。訓練では、エアバス・ヘリコプターの最新の技術情報も紹介します。

受講要件：二等運航整備士又は二等航空整備士免許保持者。二等航空整備士学科試験に合格し、有効期間内であること。

使用教材：トレーニングマニュアル、飛行規程、AVT、モックアップ等、神戸 H135 FFS / お客様実機

訓練場所：[学科訓練、実技訓練] 神戸 [地上試運転訓練] お客様基地

訓練期間

訓練名	学科訓練	実技訓練 ①	実技訓練 ②	地上試運転訓練	実地試験	期間
		モックアップ	口頭試問等			
H135 二等航空整備士（新規）① 学科訓練+実技訓練①（モックアップ実技訓練） +実技訓練②（口頭試問+ロケーション対策） +お客様実機による試運転	84 時間 (12 日*)	56 時間 (8 日)	105 時間 (15 日)	5 日 (お客様実機)	1 - 2 日 (お客様実機)	約 9 週
H135 二等航空整備士（新規）② 学科訓練+実技訓練①（モックアップ実技訓練） +実技訓練②（口頭試問+ロケーション対策） +EC135 FFS/お客様実機による試運転	84 時間 (12 日*)	56 時間 (8 日)	105 時間 (15 日)	5 日 (EC135 FFS)	1 - 2 日 (お客様実機)	約 9 週
H135 二等航空整備士（新規） (Helionix 機) 学科訓練+実技訓練①（モックアップ実技訓練） +実技訓練②（口頭試問+ロケーション対策） +お客様実機による試運転	84 時間 (12 日*)	56 時間 (8 日)	105 時間 (15 日)	5 日 (お客様実機)	1 - 2 日 (お客様実機)	約 9 週

*N 類双発機の一般特性のより深い解説と実地試験準備を含んだ内容になります。

- 実地試験にはロケーション用の実機が必要です。地上試運転試験の部分は EC135 FFS（Helionix 機を除く）でも受験可能です。
- 基本技術試験が必要な新規二等航空整備士試験には対応していません。
- お客様にて実地試験受験を行う場合は、学科訓練+実技訓練①までの受講も可能です。

訓練内容

学科訓練シラバス例 (84 時間 / 12 日)	
1 日目	オリエンテーション、機体整備関連図書の概要、H135 ヘリコプターの進化と歴史、機体概要
2 日目	CPDS、コックピット、CPDS の取扱、不具合探求 (Helionix 機：Helionix)
3 日目	メインロータードライブ、メインローター空力と構造
4 日目	機体構造、テールユニット、テールローター
5 日目	フライトコントロール、まとめ、理解テスト・解説 (1 回目)
6 日目	サーボコントロール (MHA & EHA)、ランディングギア、燃料系統 (Helionix 機：4 軸オート・パイロット)
7 日目	エンジン (ARRIUS 2B2 または P&W 206)、エンジンコントロール 1
8 日目	エンジンコントロール 2、標準装備 (座席・暖房装置・灯火類、火災警報装置)
9 日目	インスペクション 1、インスペクション 2 MMEL・MSM・ASB・TCD
10 日目	電気系統、WDM
11 日目	飛行規程 (1 章 - 5 章・追加飛行規程・承認外ページ)
12 日目	地上試運転・点検飛行要領、理解テスト・解説 (2 回目)

実技訓練シラバス例 (56 時間 / 8 日)	
1 日目	実機ロケーション (機体、エンジン)
2 日目	日常整備 (サービング) 実習
3 日目	定時点検実習
4 日目	修理手順 (シール交換等) 実習 1
5 日目	修理手順 (シール交換等) 実習 2
6 日目	トラブルシューティング
7 日目	実機ロケーション (機体、エンジン) 復習・まとめ
8 日目	復習・まとめ・理解テスト・解説

H135 二等航空整備士 (新規) *続き

口頭試問+ロケーション対策 (105 時間 / 15 日)	
1-5 日目	進捗確認
6-10 日目	実地試験申請前審査 (口述対策)
11-15 日目	ロケーション (機体・エンジン、お客様実機使用)

■ 各訓練は連続した日程では無く、間隔をあげた日程となります。詳しくはお問い合わせください。

地上試運転訓練シラバス例 (35 時間 / 5 日)	
1-5 日目	地上試運転及び受験準備

- 機体都合、天候等により、変動することがあります。
- 19 ページの注意事項 A、B、D、E、G、H、I をご参照ください。
- 訓練には基本作業訓練は含まれておりません。

H135 メーカー標準訓練 (OEM 訓練)

エアバス・ヘリコプターズ社では全世界の訓練センターにおいて、どの訓練センターでも同じシラバス・同じタスクの訓練を設定しました。学科訓練に加えモックアップ等を使用した実技訓練を組み込むことにより、より深度の深い訓練を提供します。実技訓練は、マニュアル内のメンテナンスタスクからピックアップしており、現場での作業を視野に入れたものとなっています。

受講要件 : 回転翼航空機ライセンス又は同等の知識 (6 カ月以上の整備経験を推奨) を有する

使用教材 : トレーニングマニュアル、飛行規程、AVT、モックアップ等

訓練場所 : [学科訓練] 神戸 [実技訓練] 神戸

訓練期間

訓練名	学科訓練	モックアップ実技訓練	地上試運転訓練	実地試験	期間
H135 OEM	55 時間 (8 日)	30 時間 (5 日)	なし	なし	約 3 週
H135 OEM (Helionix)	55 時間 (8 日)	49 時間 (7 日)	なし	なし	約 3 週

訓練内容

学科訓練シラバス例 (55 時間 / 8 日)	
1 日目	オリエンテーション、機体概要、CPDS、コックピット (Helionix 機 : Helionix)
2 日目	メインロータードライブ、メインローター
3 日目	機体概要、テールユニット、テールローター
4 日目	フライトコントロール、サーボコントロール (MHA / EHA) (Helionix 機 : 4 軸オート・パイロット)
5 日目	ランディングギア、燃料系統、エンジンコントロール
6 日目	パワープラント、標準装備 (座席・暖房装置・灯火類、火災警報装置)
7 日目	電気系統、インスペクション SB、TCD
8 日目	整備方式、飛行規程・性能、まとめ、理解テスト・解説

モックアップ実技訓練シラバス例 (30 時間 / 5 日 Helionix 機 : 49 時間 / 7 日)	
1 日目	マニュアル、ORION、MMEL、整備実習 (ハイドロ系統)
2 日目	整備実習 (メインローターブレード、メインギアボックス)
3 日目	整備実習 (メインギアボックス、ローターブレイキ、ARIS・スタータージェネレーター、燃料ポンプ)
4 日目	整備実習 (テールロータードライブシャフト)
5 日目	整備実習 (テールギアボックス、テールローターブレード)
6 日目	Helionix トレーナー (HATS) (Helionix 機訓練のみ)
7 日目	Helionix トレーナー (HATS) (Helionix 機訓練のみ)

整備士訓練

H135 ガイドライン

二等航空整備士が、耐空類別普通 N 類ヘリコプターの同一等級内で機種移行する場合の、航空局通達の教育訓練に関するガイドラインとメーカー標準訓練（OEM 訓練）の内容を網羅する訓練を実施します。

本訓練では、エアバス・ヘリコプターズの最新の技術情報も紹介します。

受講要件：二等航空整備士（回）タービン機等級限定以上

使用教材：トレーニングマニュアル、飛行規程、AVT、モックアップ等、神戸 EC135 FFS / お客様実機

訓練場所：[学科訓練] 神戸 [実技訓練] 神戸 / お客様基地

訓練期間

訓練名	学科訓練	実技訓練		期間
H135 ガイドライン	55 時間（8 日）	モックアップ 30 時間（5 日）	地上試運転 12 時間（2 日） H135 FFS	約 3 週
H135 ガイドライン （Helionix）	55 時間（8 日）	モックアップ 49 時間（7 日）	地上試運転 12 時間（2 日） （お客様実機）	約 4 週

訓練内容

学科訓練シラバス例（55 時間 / 8 日）	
1 日目	オリエンテーション、機体概要、CPDS、コックピット（Helionix 機：Helionix）
2 日目	メインロータードライブ、メインローター
3 日目	機体概要、テールユニット、テールローター
4 日目	フライトコントロール、サーボコントロール（MHA / EHA）（Helionix 機：4 軸オート・パイロット）
5 日目	ランディングギア、燃料系統、エンジンコントロール
6 日目	パワープラント、標準装備（座席・暖房装置・灯火類、火災警報装置）
7 日目	電気系統、インスペクション SB、TCD
8 日目	整備方式、飛行規程・性能、まとめ、理解テスト・解説

モックアップ実技訓練シラバス例（30 時間 / 5 日 Helionix 機：49 時間 / 7 日）	
1 日目	マニュアル、ORION、MMEL、整備実習（ハイドロ系統）
2 日目	整備実習（メインローターブレード・メインギアボックス）
3 日目	整備実習（メインギアボックス・ローターブレーキ・ARIS・スタータージェネレーター・燃料ポンプ）
4 日目	整備実習（T/R DRIVE SHAFT）
5 日目	整備実習（TGB・T/R Blade）
6 日目	Helionix トレーナー（HATS）（Helionix 機訓練のみ）
7 日目	Helionix トレーナー（HATS）（Helionix 機訓練のみ）

実技訓練（地上試運転）シラバス例（12 時間 / 2 日）	
1 日目	実機によるコックピット訓練（エンジン始動なし）、地上試運転訓練 1、実機ロケーション 1、飛行前後点検
2 日目	地上試運転訓練 2、地上試運転訓練 3、実機ロケーション 2、各系統

- 19 ページの注意事項 A、D、E、G、H、I をご参照ください
- 機体都合、天候等により、変動することがあります。

整備士訓練

H135 型式内移行

H135 同一型式内の別モデル移行の訓練をお客様のご要望に応じて実施します。

(例) EC135 P1 から EC135 P2 への移行、EC135T から EC135P への移行等

受講要件 : 二等航空整備士 (回) タービン機等級限定以上及び EC135 整備経験

使用教材 : トレーニングマニュアル、飛行規程、Helionix トレーナー (HATS)

訓練場所 : [学科訓練] 神戸

訓練期間

訓練名	学科訓練	期間
H135 型式内移行 ① (P ↔ T) 学科のみ	4 時間 (1 日)	1 日
H135 型式内移行 ② (P2→P3 / T2→T3) 学科のみ	7 時間 (1 日)	1 日
H135 型式内移行 ③ (全モデル → Helionix) 学科のみ	35 時間 (5 日)	5 日

訓練内容

型式内移行 学科訓練シラバス

① エンジンの相違 (Pratt & Whitney 又は Safran Helicopter Engines 学科訓練シラバス例 (4 時間 / 1 日))	
1 日目	相違点概要、エンジン
② P2 → P3 / T2 → T 学科訓練シラバス例 (7 時間 / 1 日)	
1 日目	相違点概要
③ 全モデル → Helionix 学科訓練シラバス例 (35 時間 / 5 日)	
1 日目	相違点概要、Helionix 表示、コックピット
2 日目	Helionix 操作、パワープラント
3 日目	アビオニクス概要 (GTN750 / HTAWS / ACAS)、表示と記録
4 日目	4 軸オートパイロット (理論・操作)
5 日目	電気系統、まとめ、理解テスト・解説

■ 19 ページの注意事項 A、E、H をご参照ください。

整備士訓練

H135 オートパイロット (H135T3/P3 まで)

H135 の APM2000 オートパイロット及び関連アビオニクス基礎知識の習得を H135 フル・フライト・シミュレーター (FFS)、アビオニクス・トレーナー (AVT) 等の近代的な教育教材を使用して行う訓練です。本訓練ではエアバス・ヘリコプターズの最新の技術情報も紹介します。

受講要件 : 二等航空整備士 (回) タービン機等級限定以上

使用教材 : トレーニングマニュアル、AVT、神戸 H135 FFS

訓練場所 : [学科訓練] 神戸 [実技訓練] 神戸

訓練期間

訓練名	学科訓練	シミュレーター訓練	地上試運転訓練	実地試験	期間
H135 オートパイロット * 学科+AVT+EC135 FFS	21 時間 (3 日)	1 時間 *学科訓練に含む	なし	なし	3 日

訓練内容

学科訓練シラバス例 (21 時間 / 3 日)	
1 日目	FCDS
2 日目	AFCS
3 日目	航法支援機器 (GPS、VOR 等)

シミュレーター訓練シラバス例 (1 時間 : 学科訓練に含む)	
1 時間	アビオニクス基本操作、オートパイロットモード、アップパーモード等

■ 19 ページの注意事項 A をご参照ください

Helionix 慣熟

Helionix・コックピットが初めての方に Helionix トレーナー (HATS) を使用して実習を行います。

受講要件 : Helionix 以外の H135 コックピットの操作経験

使用教材 : 飛行規程、Helionix トレーナー (HATS)

訓練場所 : [学科訓練] 神戸

訓練期間

訓練名	学科訓練	実技訓練	期間
Helionix 慣熟 * 学科 + HATS	実技訓練に含む	14 時間 (2 日)	2 日

訓練内容

シミュレーター訓練シラバス例 (14 時間 / 2 日)	
1 日目	飛行規程 7 章 (AFCS・Helionix)、HATS 実習 (地上試運転・各モード機能確認)
2 日目	HATS 実習 (AFCS・ナビゲーション・トラブルシューティング)

整備士訓練

H135 整備実技

H135 の定時点検に必要な分解・組み立て手順及び特殊工具の使用方法をモックアップを使用して行う訓練です。本訓練ではエアバス・ヘリコプターズの最新の技術情報も紹介します。訓練内容はお客様のご要望に応じます。

受講要件：二等航空整備士（回）タービン機等級限定以上

使用教材：訓練資料、整備マニュアル、モックアップ等

訓練場所：[実技訓練] 神戸

訓練期間

訓練名	学科訓練	実技訓練	地上試運転訓練	実地試験	期間
H135 整備実技 実技のみ	なし	21 時間（3 日）	なし	なし	3 日

訓練内容（下記より選択可能）

モックアップユニット	実技訓練内容例	ATA
フューエルエキゾーストプレート	ポンプカートリッジの交換、燃料タンクセル点検要領、プレート交換	28
ハイドロサプライシステム	オグジュアリーポンプを使用しての機能点検、作動油補給、系統エア抜き、フィルター交換	29
メインローターブレード	リードラグダンパーの交換、プッシュ交換	62
メインギアボックス、メインローターシャフト	各シール交換、マストモーメント点検、ハブシャフトナットトルク点検、ローターブレーキ調整手順	63
テールローターハブ	分解詳細点検要領、ブレード点検要領、TT ストラップ 交換	64
テールギアボックス	インプット及びアウトプットシャフトシール交換、テールギアボックス取り付け・取り外し	65
テールロータードライブシャフト	ベアリング及びラバースリーブ交換、ドライブシャフト振れの測定	65
ARRIUS 2B エンジン	ポアスコープ点検と判定、各種フィルター交換、燃料ノズル交換、FMU 交換	72

■ 19 ページの注意事項 A、H をご参照ください。

■ 定員は 1 講座 4 名までとなります。

H135 試運転及び非常操作

H135 整備士試運転及び非常操作を EC135 フル・フライト・シミュレーター（FFS）及びアビオニクス・トレーナー（AVT）で実施する訓練です。シミュレーター訓練時間は二等航空整備士取得、ガイドライン訓練等の試運転経験にも算入できます。訓練では、エアバス・ヘリコプターズの最新の技術情報も紹介します。

受講要件：二等航空整備士（回）タービン機等級限定以上

使用教材：訓練資料、AVT、神戸 H135 FFS

訓練場所：[学科訓練] 神戸 [実技訓練] 神戸

訓練期間

訓練名	学科及び地上試運転訓練（AVT）	非常操作訓練（シミュレーター）	期間
H135 試運転及び非常操作 AVT + H135 FFS	2 時間	1 時間	1 日

訓練内容

実技訓練シラバス例		
	訓練内容	使用機材
1 回目	地上試運転訓練	AVT
2 回目	非常操作	H135 FFS

■ 19 ページの注意事項 A、J をご参照ください。

.....

.....

注意事項

- A) 訓練終了時には、エアバス・ヘリコプターズ・ジャパンより修了証が発行されます。
- B) 実地試験にはエアバス・ヘリコプターズ・ジャパンの教官が立会います（但し、合格を保証するものではありません）。
- C) 実機訓練は、お客様にご用意いただいた機体で実施となり、実機を使用する訓練時はお客様で付保する航空保険が適用されますので、保険内容等については事前に確認が必要となります。
- D) 技能証明等取得に必要な申請料や登録免許税は別途かかります。
- E) 理解テストの結果や習熟度、実技訓練の天候や基地から練習場所への移動時間により、訓練時間・期間を延長する場合があります。
- F) 原則として、土日祝日の訓練はありません。
- G) 地上試運転は、お客様にご用意いただいた機体又は神戸 H135 FFS（Helionix 機を除く）で訓練を実施します。
- H) 各訓練は基本装備品についての訓練となります。
- I) 訓練にはエンジン講習は含まれておりません。
- J) お客様のご要望に合わせて訓練時間を追加することが可能です。（料金別途）

エアバス・ヘリコプターズ・ジャパン株式会社
〒106-6119 東京都港区六本木 6-10-1 六本木ヒルズ森タワー19 階
カスタマーサポート部
<http://www.airbushelicopters.co.jp>

トレーニングセンター
〒650-0048 兵庫県神戸市中央区神戸空港 8-8
神戸空港事業所内

AIRBUS

©Airbus Helicopters Japan

Roppongi Hills Mori Tower, 19F
6-10-1 Roppongi, Minato-ku
Tokyo 106-6119
Japan

H135 Pilot & Technician
Training Catalog
Ver 2.0 (2022.11)